

# 生涯学習 がんばっています!

初めての昆虫探しに夢中になった男の子。  
久しぶりの運動で爽快な気分を楽しまれた女性。

今回は生涯学習講座の「鉄崎幹人の自然探検隊」と「ノルディックウォーク教室」に参加された方の声を紹介します。

## 楽しかった自ぜんたんけん

稲垣伊織さん



ぼくは、ひばら公園とたけ公園に、とよ自然公園に行きました。何回も参加しています。

公園には、たくさんトンボやチョウなどがいました。ぼくは、ウスバキトンボという黄色のトンボをつかまえました。そのトンボはたびをするトンボだよ。」と、つぎきさんが教えてくれました。ほかにもセスジイトトンボ、クサキリなどをつかまえてうれしかったです。

公園では、ドングリのついたコナラの木のはっぱが、パラシュートのように落ちていました。つぎきさんは、「えだを切ったあとがあるから、チョッキリがたまごを産みつけて口でチヨキンと落として、幼虫になつてドングリを食べて大きくなつてさなぎになるんだよ。それにドングリとはっぱがいつしよにくっついてるのは、ドングリがかねないようにはっぱがついてるんだよ。」と教えてくれました。つぎきさんはいつもいろんなことを知っていてすごいなあと思いました。帰りにカエルをつかまえておなかのところを手でさわると、さいみんじゅつにかかったようにカエルが動かなくなり、すわりました。とてもビックリしました。ぼくは次のたんけんも行きたいです。つぎきさんみたいに自然のことを知り、ものしりになりたいです。

## ノルディックウォーク教室に参加して

尾野明美さん



生きがいタウンを見て、昨年購入したものの押し入れに眠らせたままのポール（杖）を思い出して、参加しました。私自身、ひどい猫

背で姿勢を正す為に購入したポールですが、販売店の方からの簡単な説明では、実施に当たり難しく、ほぼ未使用状態で収納しており、存在すら忘れていました。

三回で終了の短期間講座で、社会教育センター周辺を散策する程度かと予想していましたが、実際には異なり、マイクロバスで移動してからの散策でした。小牧山・四季の森・名古屋東山一万歩コースという具合に思いがけないプチ日帰り旅行のプレゼントを頂いた様な気分を味わう事ができました。

参加されたほとんどの方が、ウォーキングを日課としている方ばかりで、会話をしながら楽しく歩かれています。それに對し、運動不足の私は皆さんのペースに遅れず転ばないように付いていくことが精一杯でした。

最初は景色を楽しむ余裕もなく、回を重ねる度に少しずつゆとりが出てきて、さわやかな風・鳥の鳴き声を直に肌や耳で感じる事ができ、大変爽快でした。また、歩いて汗を流す事も子ども頃の遠足以来の事のように、昔を懐かしみ、心が癒され、感謝の三日間でした。

## サッカーを始めて

加藤陽樹さん

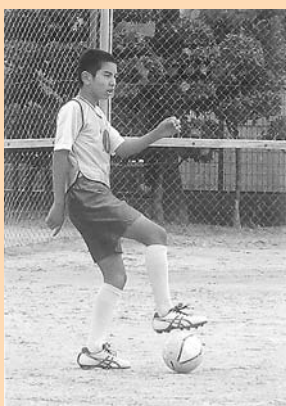
キッスレポト

僕がスポーツ少年団のサッカーに入ったのは、小学一年生の僕の説明不足からでした。小学校でやっているサッカー部の練習を見て、「サッカーをやりたい（部活に入りたい）」と親に言ったそうです。

スポーツ少年団の入団式に来ていた一年生は僕一人。お母さんは僕がとても緊張しているように見えたので声をかけると、「僕がやりたいサッカーと違う。ぼくがやりたかったのは…」との説明で、やっと違うのに申し込んだと分かったそうです。そんなことで始まったサッカーですが、友だちと一緒に練習は真面目に通っていました。

学年が上がり、練習量が増え、六年生になり試合数も増えました。試合中にボールをけりそこなったり、上手な人を目の当たりにするなど、ため息の出ることもたくさんありますが、「一つ一つ練習をして上手くなれたらいいな。」と思います。

試合の後、さし入れをいただけるのもうれしいです。



このページについての問合せ  
教育委員会事務局生涯学習係  
396